

1. 評価結果概要表

作成日 平成21年3月13日

【評価実施概要】

事業所番号	3870500638		
法人名	特定非営利活動法人ワーカーズ・コレクティブひと		
事業所名	グループホーム 夕日館		
所在地	新居浜市萩生 2 7 2 0 - 1	(電話)	0897-40-3444
管理者	高橋 光子		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市千舟町六丁目 1 - 3 チフネビル501		
訪問調査日	平成21年1月29日	評価確定日	平成21年3月13日

【情報提供票より】 (平成21年1月12日事業所記入)

(1)組織概要			
開設年月日	平成12年4月18日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6 人
職員数	7 人	常勤	5人, 非常勤 2人, 常勤換算 6.2人
(2)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	21,000 ~ 31,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(60,000 円) 無		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,200 円		
(3)利用者の概要 (平成21年1月12日現在)			
利用者人数	6 名	男性 1 名	女性 5 名
要介護1	0 名	要介護2	2 名
要介護3	1 名	要介護4	2 名
要介護5	1 名	要支援2	0 名
年齢	平均 83.2 歳	最低 74 歳	最高 95 歳
(4)他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 (あり)・なし	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

利用者から「昔はこうだった」「こんな遊びがあった」と聞かせていただいたり、お料理等を教えていただくことも多い。「疲れてるんじゃない?」「ちょっとお休み」等と声をかけていただくこともある。
 利用者の起床に合わせて朝食の準備をされており、パン・ご飯を選ぶことができる等、個々に希望に合わせて支援されている。近くのデイサービスに通っておられる友人を訪ね、おしゃべりを楽しむ利用者もいる。
 食事作りは、利用者と職員でされており、えびの皮むき等、利用者ができることを無理なく行えるように支援されている。ラジオから音楽等が流れ、おしゃべりも楽しみながら食事をされていた。

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の評価結果を受けて、事業所では、口腔ケアへの取り組みや、利用者への接し方が馴れ合いになっていないか、という点に特に注意して取り組まれた。
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価は、職員全員で話し合いながら作成され、計画作成担当者がまとめられた。職員は、利用者への声かけ等、振り返りの機会となったと話しておられた。
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者やご家族、訪問看護ステーションの方や、市の包括支援センターの担当者等の参加をいただき、利用者の状態等を説明しておられる。
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年1回、事業所主催の敬老会の日に家族会を開催されている。ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりや体調等を報告されている。遠方のご家族が事業所に泊まれることもあり、ゆっくりお話をする機会となっている。季節ごと作成されているホーム便りでは、お出かけの様子や行事の報告、又、認知症について紹介されている。
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業所では、地域の自治会に出席されており、清掃活動には、職員が参加されている。事業所便りを近隣のお宅に配り、事業所の活動を知っていただけるよう取り組まれている。地域主催の盆踊りに参加されたり、中学生が2泊3日の体験学習に訪れている。

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム 夕日館

(ユニット名) _____

記入者(管理者)

氏名

高橋 光子

評価完了日

平成 21年 1月 13日

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			誰にでも訪れる老いや障害を自分の事として受け止め、助け合って生活していける地域社会をつくるための『住民参加型福祉』を目指す法人の理念に添い、事業所の理念も全職員で作っている。『のんびり、気ままに過ごしましょう。～住み慣れたところで最期まで～』		
			(外部評価)		
			法人全体の理念の他に、現在の利用者の状態を踏まえて職員全員で話し合い、事業所の理念を作られた。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的な会を持ち、理念の共有を図っている。		利用者や職員が変わるときも確認・見直しを行う。 ホーム内への理念の掲示に加え、個別ケアプラン表でも確認するようにしている。 理念の達成状況を職員間で振り返る機会を作りたい。
			(外部評価)		
			月1回、法人全体で行う理事会の他に、事業所職員が集まる「チーム会」が行われ、理念について話し合われている。業務日誌にも理念を示し、日々確認できるようにされている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価)		
			定期的な便りの発行。地域や関係事業所・家族への配布とホーム内へ掲示している。		職員がタ日館便りを手配りしている。利用者と共に配ることもある。 運営推進会議等で常に確認していきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 隣家が大家さんという恵まれた環境と管理者も地域の出身で昔なじみの方が多い。近所の方に野菜を頂いたり、声をかけていただいたりしている。		
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会に加入している。清掃(泉大師・自治会館)や祭りの寄付などで協力している。地域の学校行事や寺社参りにもでかける。 (外部評価) 事業所では、地域の自治会に出席されており、清掃活動には、職員が参加されている。事業所便りを近隣のお宅に配り、事業所の活動を知っていただけるよう取り組まれている。地域主催の盆踊りに参加されたり、中学生が2泊3日の体験学習に訪れている。		老人会への参加を考えているが、認知症が深まったりADLの低下で本人の参加希望を引き出すことが困難な状態が続いているが、実現に向け頑張りたい。 さらに、利用者個々が地域との交流を深められるよう、近くの幼稚園や学校、又、老人会等との交流等、取り組みを拡げていかれてはどうか。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 便りに相談窓口を明記している。		ご近所さんとお茶会などを企画し、気軽に相談できる環境を整えたい。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 自己評価は各職員が記入し話し合いの上、事業所の状態を確認して事業所の自己評価としている。外部評価は回覧し意見を運営会議などで交し合う。 (外部評価) 自己評価は、職員全員で話し合いながら作成され、計画作成担当者がまとめられた。職員は、利用者への声かけ等、振り返りの機会となったと話しておられた。前回の評価結果を受けて、事業所では、口腔ケアへの取り組みや、利用者への接し方が馴れ合いになっていないか、という点に特に注意して取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>評価結果は運営推進会議で必ず報告し、取り組み状況を説明する。頂いた質問・意見は職員に報告し、運営会議でサービス向上のためできることを提案しあう。</p> <p>(外部評価)</p> <p>利用者やご家族、訪問看護ステーションの方や、市の包括支援センターの担当者等の参加をいただき、利用者の状態等を説明しておられる。</p>		<p>地域の民生委員の方や自治会長の方等にも、運営推進会議への参加を呼びかけておられるようではあるが、時間の都合のこともあり、出席は少な目である。事業所は、『住民参加型福祉』を目指す法人でもあり、地域のより多くの方の理解や協力、ご意見を聞けるような取り組みの工夫を重ねていかれてほしい。</p>
9	6	<p>市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営に関する質問や相談の行いやすい関係ができている。事業所指導の参加、待機者数の状況報告も行い、新規の入居希望者には被保険者番号を提示してもらって書式に変更した。福祉課とも連携し生活保護の方の受け入れを行っている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護相談員を定期的に受け入れておられ、利用者の方の中で本が好きだという声を聞いて下さり、事業所では、週刊誌等を置くようにされた。又、市の担当者には、生活保護受給者の生活の相談等をされており、アドバイスをいただいている。</p>		
10		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>研修に参加し、内部研修する。</p>		
11		<p>虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>研修に参加し、内部研修する。職員同士が相互に心理的な虐待の可能性などを指摘し合っている。</p>		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 管理者が、契約書・重要事項説明書・情報提供票・運営規定などの内容に沿って説明する。		契約時に利用者や家族に説明するものと同じものを職員も理解できる機会を持ちたい。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 利用者からの意見や不満・苦情は職員間で共有し、改善している。(文書での回覧・会議での話し合い) 介護相談員を受け入れ、利用者の相談に乗ってもらっている。		
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 夕日館便りの配布。 個別のお知らせや預かり金の金銭出納簿の送付または、手渡し。 利用者の居室に写真などの掲示。		家族が訪問したとき、職員ともゆっくり話すことができている。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の暮らしぶりや体調等を報告されている。遠方のご家族が事業所に泊まれることもあり、ゆっくりお話をする機会となっている。季節ごと作成されているホーム便りでは、お出かけの様子や行事の報告、又、認知症について紹介されている。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族からの意見や不満・苦情は職員間で共有し、改善している。(文書での回覧・会議での話し合い) 苦情受付窓口を重要事項説明書で知らせている。		
			(外部評価) 年1回、事業所主催の敬老会の日に家族会を開催されている。最近、ご家族の連絡網を作っていただくよう依頼された。ご家族から非常時の物資の保管方法等について、ご意見をいただき取り組まれた。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 運営会議と定例会に参加し意見を述べる事が出来る。		運営に関する意見が反映されなかった場合の理由などを記録に残したい。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居初期・ターミナル期・病気で症状が不安定なとき・入浴介助など二人介助になったとき等々、調整している。		職員数を増やさず法人内のなじみの関係で調整できるようにしたい。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 異動は最低限に抑えている。		なじみの関係が、長い付き合いになり馴れ合うことにならないように努めたい。
			(外部評価) 職員の異動は少なく、利用者と職員は馴染みの関係となっている。管理者や職員は、利用者との馴れ合いにならないように気を付けておられる。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 年間研修計画を作成し実施する。 研修参加の機会均等をはかり、公平になるよう心がけている。		認知症介護実践者研修の全員参加を目指している。
			(外部評価) 県GH協議会の職員の研修会等、積極的に参加しておられる。勤務内の参加や参加費の補助等、法人も研修を推進されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			グループホーム管理者親睦会・ケアマネ協議会主催の研修会・グループホーム見学などに参加している。		交流に消極的な職員にどのように関わってもらおうか考えたい。
			(外部評価)		
			市内の管理者の集まる研修会では、意見交換を行っておられる。地域のお出かけスポットの情報等を教えてもらうこともある。		職員は、他事業所の取り組み等を知り、さらに事業所のケアの質向上につなげていきたいと話しておられた。今後、相互研修等の機会も活かして、同業者との交流を活発にすすめていかれることが期待される。
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			レクリエーションや親睦会の実施。会議やカンファレンスでストレスを探り軽減できる方法を考える。が、具体的なストレス軽減策はない。		気分転換を図る方法を探りたい。
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
			発言・研修参加への機会均等を図っている。各自の得意分野を伸ばし、業務分担を進め役割を持つ。不得意分野はお互いに指摘し合いスキルアップを図る。		資格取得などが給与に反映されるよう給与システムを変更することに取り組みたい。 年齢を重ねている職員にふさわしい仕事や研修を考えたい。
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人からの利用申込は少ない。法人内のデイサービスやヘルパーの利用者の場合、職員の以前の職場で信頼関係ができてることが多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 家族に限らず、利用申込者に現状を電話等で尋ねている。		
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 入居に関しては、急いでいるときは、他のグループホームや施設の紹介、居宅支援事業所への引継ぎなどを行う。		
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人や家族の見学後の入所申込をお願いしている。		
			(外部評価) 入居前には必ず事業所を見学いただき、納得の上で入居できるよう取り組まれている。入居間もない頃は、同じ職員がケアにあたる等、ご本人が事業所の生活に馴染みやすいよう気配りされている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 年を重ねた人から教わるが多く尊敬や感謝の気持ちで接するように努めている。小さなグループホームなので、一緒に楽しんだり笑ったりし家族のように過ごすこともできる。		
			(外部評価) 利用者から「昔はこうだった」「こんな遊びがあった」と聞かせていただいたり、お料理等を教えていただくことも多い。「疲れてるんじゃない?」「ちょっとお休み」等と声をかけていただくこともある。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 今までの介護の苦労や達成感を共有できるように情報交換を行い、これからも一緒に支えていけるように努めている。必ず1ヶ月に1回は訪問・入金システムは続けて行ききたい。		
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 困難な関係であったとしても先入観を持たずに支援できるように努めている。また、家族が訪問しやすい雰囲気を作っている。		キーパーソンでない家族にも家族へのお知らせが出来るようにしたい。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 本人の生活歴を把握し、馴染みの人が訪問しやすい雰囲気作りや入居前に利用していた介護サービスを利用することも試している。		
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 良好な関係のときはもちろん、不穏な関係になりそうなときに関わり方で、回避できるように支援している。 自室に閉じこもらないように声をかけている。		
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 看取りの場合は、通夜や告別式にも参加し、家族の気持ちに配慮しながら身の回りの物品の片付けなども手伝っている。入院で退所された方は、入院時サマリーを送り、情報提供しその後の様子も定期的に訪問し情報を得、夕日館への再入所に付いて相談に応じている。在宅を選ばれた方は、居宅との引継ぎをしている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1.一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			傾聴し記録し職員間で情報の共有を図っている。意思表示が困難な場合、職員本位にならないよう、意見交換をしながら家族の意向等も含み、推察している。		意向の把握に努めているが、困難な希望に対し、解決していきたい。
			(外部評価)		
			ご本人やご家族から得た情報や職員の日々の気づきを記録されている。		
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族への情報提供の依頼、入所前の介護サービス等の情報収集に努めている。		
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			個別記録を充実し、一人ひとりの生活のリズムを把握できるよう見守っている。		
2.本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			本人・家族・職員・医療関係者などに意見を求め作成している。		
			(外部評価)		
			ご本人の思いを中心に、ご家族の意見をうかがいながら介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			1年に1回要介護認定更新時長期計画を作成。1ヶ月に1回ケアカンファレンスでケア目標を立て、実践しモニタリングを行う。大幅な変更時には、長期計画からのプラン作成としている。		
			(外部評価)		
			年1回、介護計画の長期目標を立て、それに基づき毎月ケア目標を設定して、モニタリングをされている。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			個別の書式を作成し、ケア目標に沿って記録し情報を共有している。経過を月に一度のカンファレンスで報告し、ケア目標を見直している。		個別に職員の担当を決め、より深い気づきができるように努めている。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			利用者や家族の希望に沿い、通院や外出（散髪・デイサービス）の支援をすることもある。法人のデイサービスからの利用者の訪問やデイサービスへプログラムを楽しみに行く事もある。		
			(外部評価)		
			以前通っておられたデイサービスの知人に会いに行ったり、来訪を楽しみにしている利用者もおられる。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		(自己評価) 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	地域のボランティアが、利用者の見守りをしてくれたり、敷地内の草引きを手伝ってくれている。		
41		(自己評価) 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	デイサービスのプログラムの案内をもらっている。福祉用具の購入や住宅改修（手すりや階段）の相談など出来ている。		
42		(自己評価) 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	権利擁護の相談はするが、利用には至っていない。運営推進会議のメンバーから助言をいただいている。		
43	18	(自己評価) かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している (外部評価)	受診・往診・病院への紹介・訪問看護への指示などかかりつけ医には24時間連絡可能で安心できる関係が出来ている。かかりつけ医は利用者や家族の希望に沿っている。 協力医の往診が毎週1回あるが、ご家族のご希望に沿ってかかりつけ医を受診されている方もいる。病院によっては、職員が同行し、状態を報告するようにされている。		
44		(自己評価) 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症が深くなり、専門医の受診が必要な場合、受診支援している。家族と共に通院することが多い。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 毎日の健康状態を報告している。24時間相談可能な訪問看護と契約している。		
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院中は病状の把握が出来るように見舞いや家族への問い合わせを行っている。病状が安定すれば、家族や利用者と話し合い、退院に向け医師と相談している。		
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 本人・家族へ運営推進会議や家族会などで説明は繰り返し行っている。重度化しないと考えがまとまりにくい家族が多いが、看取りの経過は報告している。		見取りの加算がどんな条件・どのくらいの加算なのか不明。利用者負担や事業所の経営的リスクも考えていきたい。
			(外部評価) 看取りの指針をご家族に説明され、相談しながら取り組まれており、看取り支援時には、ご家族に泊まっていただく等、協力をいただいた。		利用者の重度化に伴い終末期支援について、どこまでを事業所でお世話するか、ご家族の希望を伺いながら話し合いをすすめていきたいと話しておられた。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 看取りの指針に沿い、援助をしている。看護師が職員にいないため、医療行為が必要になった場合の対応を家族と共に考えている。また、家族がどのように関わっていただけるのかも話し合っている。		医療行為を家族に準ずるものとして行えるシステムが整えるよう切望している。
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 病状の悪化で入院し退所される方へは、ケアの経過を文書で報告し、退所後しばらくは、訪問もする。自宅へ帰られる場合も情報を提供し、訪問もする。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>					
<p>1.その人らしい暮らしの支援</p>					
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>					
50	20	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>(自己評価)</p> <p>言葉かけや対応は、家族のように親しくしているが、馴れ合いにならないように気をつけている。個人情報 の取り扱いは、個人ファイルなどは扉つきの棚に保管 するなど注意している。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きか けたり、わかる力に合わせた説明を行い、 自分で決めたり納得しながら暮らせるよう に支援をしている</p>			<p>(自己評価)</p> <p>よく話を聞き、状況を見極め希望に添えるよう努めて いる。</p>		<p>時に、ご家族に、職員の利用者への接し方や対応等につ いて、ご意見をいただくような機会を設けてみては どうだろうか。</p>
52	21	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのでは なく、一人ひとりのペースを大切に、そ の日をどのように過ごしたいか、希望に そって支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>共同生活の一定の大きな流れを大切にしながら、出来 る限り希望に添えるよう努めている。</p>		
			<p>(外部評価)</p>		
<p>利用者の起床に合わせて朝食の準備をされており、パ ン・ご飯を選ぶことができる等、個々に希望に合わせ て支援されている。近くのデイサービスに通っており る友人を訪ね、おしゃべりを楽しむ利用者もいる。</p>					

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 整髪に関しては、家族と行く・訪問してもらう・職員が付き添う・職員がカットするなど様々な選択が出来るよう努めている。		
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 下ごしらえを一緒にし、一緒に食べる。配膳や下膳の手伝い・食器洗いを一緒にすることもある。それぞれの利用者の出来ることを見極めるよう努めている。 (外部評価) 食事作りは、利用者と職員でされており、えびの皮むき等、利用者ができることを無理なく行えるように支援されている。ラジオから音楽等が流れ、おしゃべりも楽しみながら食事をされていた。		
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 利用者が医師より禁止されているもの以外は、提供できるよう支援している。		
56		気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個人記録で排泄パターンを把握している。心身の状態や時間帯などでオムツの使用を工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			週3回を基準にしているが、季節や個人の体調に配慮している。		入浴を楽しむ為のものとしてケアプランにしたい。
			(外部評価)		
			この1年間、事業所では、入浴支援に特に力を入れて支援された。日中のお好きな時間に、入浴ができるよう支援されている。		入浴に気が進まない方には、「職員と一緒に入浴を試みたらどうか」という案も出ているとのことである。
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			体調や前日の睡眠時間などにより休んだり眠れなくなりそう支援している。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			買い物やドライブ・外食やデイの参加・庭仕事や音楽・散歩など能力や好みに合わせた参加への声掛けや支援を行っている。		
			(外部評価)		
			ご自分の部屋の掃除や洗濯をされる方がいる。季節ごとにお花見に出かけられたり、外食を楽しみにされている方もいる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			身元引受人と相談の上、希望や能力に応じ支援する。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			散歩や買い物に出かける機会が多い。		
			(外部評価)		
			食材の買出しや散歩、近くのデイサービス主催のバザーや盆踊りに出かけ楽しまれた。車椅子を利用されている方が使いやすいよう、駐車場から近いところに入出口を作り、段差解消にも工夫されている。		さらに、ご家族等にも、外出支援についての希望をお聞きするような機会も作ってみてはどうだろうか。
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			地域の催しや墓参りなど、希望を聞き家族にも声をかけている。		
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			電話は、個室でゆっくり話すことができるように支援している。		電話や手紙は自由にできることを伝えて行きたい。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			面接時間は決めずいつでも訪問できるように支援している。また、居室内は希望すれば宿泊も可能。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会を行い、どんなことが身体拘束になるのか学んでいる。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 深夜帯以外施錠することは無い。 (外部評価) 日中は鍵をかけていない。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中はさりげない見守り・夜間は2時間置きに居室訪問し見守っている。		
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 各居室で利用者に応じ対応している。		
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 個々に出来ること・できそうにないことを見極め支援に努めている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 急変や事故へのマニュアルをカンファレンスなどで確認している。事故やヒヤリハットは、そのつど回覧し情報を共有している。		救命救急訓練の実施。 事故発生時の対応に不安のある職員の不安の原因を探り減らして行きたい。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 定期的に緊急連絡の訓練や避難経路の確認など行っている。また、近所の方に災害時の協力をお願いしている。防災グッズの点検は運営推進会議の日に実施している。 (外部評価) 避難にかかる時間を計っておられた。近所にお住まいの大家さんや近隣の方に、いざという時、協力いただけるようお願いされている。災害用備蓄（水や食料）を確保しておられる。		消防署と行う避難訓練はできていない。利用者参加の避難訓練をしたい。 今後、消防署と連携しての避難訓練を計画中のことである。いざという時に、すべての利用者、職員が安全に避難できるよう、いろいろな災害や夜間等も想定した訓練を重ねていかれることが期待される。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) 急病や怪我に加え徘徊などに付いても説明し、強く拘束などを求める家族にも理解を求めている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) バイタルサインに気をつけている。(日ごろの個々の心身状態は、把握できている。)顔色や動き・排泄や食事量にも気をつけ異変があれば、医療機関に相談している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬一覧表で一人一人の服薬状況は把握できている。服薬介助と症状の変化は記録している。		
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排便のパターンを調べ食事や水分量で工夫している。医師の指示のもと便秘薬も適切に服薬支援している。腹圧がかかり排便しやすい姿勢で排便介助できている。毎日ラジオ体操している。		
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 朝夕は個々に歯磨きをしたり、口腔ケアをしている。昼は利用者によりケースバイケース。義歯は必要に応じボリデント等使用。		
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 食事量・水分量は記録できている。普通食が困難な利用者には必要に応じ、ミキサー食・刻み食・とろみなどで飲み込みやすい工夫をし、口から食べることを大切にしている。 (外部評価) 献立を職員が立て、法人内の栄養士が月に1回アドバイスをくれるようになっている。水分は、食事時に大目に摂っていただけるよう、「大きいコップ」にされている。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルは整備できている。室温や湿度に気をつけている。インフルエンザの予防接種は利用者も職員も実施している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食品管理の研修に参加している。手洗いの徹底や食品の管理が衛生的になるよう努めている。賞味期限等気をつけている。配膳してから2時間程度で処分している。		家庭料理の特性上、煮込みなどは時間の経過も大切にしているが、調理してからの時間にも注意を払いたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 門扉は使用していない。玄関は普通の家のように飾っている。庭は季節の花を咲かせるように努めている。非常口は、車椅子の出入りに楽な階段にする。		
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 季節を感じられる飾り付けにする。		排泄の回数が多い利用者が多くなり、トイレが混雑している。増築したい。
			(外部評価) 民家改造型の事業所で、障子や昔ながらの家具が、利用者にとって落ち着ける雰囲気となっている。居間のガラス窓が広く、外の景色が眺められるようになっている。		利用者の生活に不自由がないか話し合ってみてほしい。トイレの使用状況等、不便さも感じておられるようであり、法人を含めて話し合うような機会とされてほしい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 居間での席は工夫している。玄関先や台所などでくつろげるよう工夫している。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			本人・家族と相談の上家具を調えたり、寝具を整えている。使い慣れたものを使い続ける利用者もいる。家族や日頃の写真なども飾るようにしている。		
			(外部評価)		
			ご本人・ご家族の納得のもと、カーテンで仕切る相部屋もある。温度計や湿度計を各部屋に置き、加湿器を使用している方もある。カーテンやたんす、テーブル、テレビ等を持ち込んでおられる方もいる。		
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			湿度温度計を準備し、調節している。古い日本家屋なので換気はしぜんにできているが、気もつけている。		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			家具の配置・手すりの設置などで移動の安全を図っている。非常口が車椅子で安全にではいるできるように階段を設置した。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			居室のしるし・トイレ・洗面所など位置を表示している。台所や洗濯場も道具が目立つようにしている。		
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			玄関・裏口・非常口から庭に出ることができる。野菜作りや花壇の手入れができる。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	日々のケアの中から得た情報を共有し、ニーズをつかみカンファレンスでケア目標を設定することで職員の意識統一ができています。
89	利用者職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ①毎日ある 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	昼食時はのんびりと過ごすことの出来る1番の時間でゆっくりしている。午前と午後のおやつタイムや体操の時間も緩やかに時間をすごしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	起床時間や就寝時間食事の時間は個々のペースに合わせたケアの提供が出来る。居室や共有スペースでの時間も個々人が決めている。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人への支援や利用者同士の交流の支援もうまくいっているが、認知症の深くなった人に支援が追いつかないこともある。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	ADLの低下や持病が安定しなくて外出が困難になった人もいます。健康な方も認知症が深く単独での外出は難しくなっている。職員同行での外出に限られてきている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	訪問看護や医師の定期的な訪問と随時の受診往診で健康管理は万全。24時間の相談可能な体制で安心して暮らしていける。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	ケア目標を明確にすることで安心して暮らせるように支援できている。いつも利用者の困りごとを聞けるように努めている。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (自己評価) ②家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	訪問時には相談しやすい雰囲気作りに努めている。なかなか訪問されない家族には夕日館での様子を報告するようにしたい。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ③たまに 1 ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 4 ほとんどない	家族を含めるとほぼ毎日なじみの人が訪ねて来ている。隣家の方は、窓越しにいつもあいさつを交わしている。

項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価) ② 1 大いに増えている ② 2 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	家族の方に運営について相談できたり、近所の方から災害時の応援やボランティアの申し出があったりして力強く思っている。
98	職員は、生き生きと働いている (自己評価) ② 1 ほぼ全ての職員が ② 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全員毎日生き生きと働いているとはいえないが、おおむね自分の役割を楽しみながら働いている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての利用者が ② 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	楽しそうに過ごしていることが多い。安心して生活できていると思う。することが無く、所在無げにしていることもある。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価) ② 1 ほぼ全ての家族等が ② 2 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	話をしやすい雰囲気を作っているが、不安や不平苦情を聞くことはない。が、以前から利用者との少ないかわりの少ない家族の意思はつかみにくい。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

民家を改修してグループホームを始めました。大家族の雰囲気です。96歳のおじいちゃんを大黒柱に女性陣が敬いつつ、いたわりあって暮らしています。本当の家族のように、悲しいことには涙を流し、喜びを分かち合い、時にはいさかひもあります。住み慣れたところでなじみの人に囲まれて最期までのんびりと気ままに暮らすお手伝いが出来ればなあと考えています。本人や家族が望めば、家庭的雰囲気の中、人生の最後の時間を混乱の少ない中過ごしていただきたいと思っています。ボランティアで訪れた中学生が、『おばあちゃんの家に来たい』と話してくれたことがあります。実践がうまくいっているのかなあと考えています。